

報告

- 一、辻博助教授は昨年十月教授に任命されました。
- 一、住谷悦治教授は昨年十二月定年退職されました。
- 一、松井七郎教授は本年二月定年退職されました。
- 一、榎原胖夫助教授は本年四月教授に任命されました。
- 一、島一郎助手は本年四月専任講師に任命されました。
- 一、渋谷昭彦助手は本年四月専任講師に任命されました。
- 一、今西正雄教授は昨年七月サンパウロ日伯文化普及会の招きにより渡伯、約二カ月にわたり各地で講演されました。
- 一、西村豁通教授は、ヨーロッパ留学を終え、昨年十二月帰国されました。
- 一、入江節治郎教授は、イギリス留学のため、本年四月横浜を出発されました。

元教授住谷悦治、松井七郎両先生は、本年四月同志社名誉教授になりました。

第九十三回経済研究会報告

六月二十二日(火)於 明德館会議室

発表者 岡 光夫教授

司会者 黒松 巖教授

テーマ 「地主酒造業について」

(出席者) 小松、宗藤、松井、松山、今西、相見、岩根、入江、

古米、辻、渡辺、西川(宏)、粕、藤村、今村、森、

小森、島、坂本、渋谷

岡教授の報告の詳細については、同志社大学人文科学研究所編集「社会科学」、第一巻第一号(昭和四十年三月)所載の論説を参照されたい。

第九十四回経済研究会報告

十一月二日(火)於 神学館二十一番教室

発表者 山下 博助教授

司会者 相見志郎教授

テーマ 「一般均衡理論と均等利潤率」

(出席者) 今西、岩根、笹田、林、辻、渡辺、西川(宏)、粕、

藤村、今村、坂本、渋谷

山下助教授の報告の詳細については、本誌第十五巻第三・四号所載の論説を参照されたい。

第九十五回經濟研究会報告

六月十四日(火) 於 扶桑館會議室

發表者 森 一夫 專任講師

司會者 宗藤圭三 教授

テーマ 「不均一分散性について」

(出席者) 相見、中島、岩根、小野、伊藤、辻、榊原、渡辺、

山下、西川(宏)、柏、今村、小森、島、渋谷

森 專任講師の報告の詳細については、本誌第十五卷第五・六号
所載の論説を参照されたい。

第九十六回經濟研究会報告

六月二十八日(火) 於 尋真館會議室

發表者 西川 宏 助教授

司會者 古米淑郎 教授

テーマ 「アイゼンハワー政権初期の景気後退と經濟成長政策
思想」

(出席者) 中島、岩根、伊藤、笹田、辻、榊原、野間、山下、

柏、藤村、森、小森、渋谷

西川助教授の報告の詳細については、本号所載の論説を参照されたい。

アーリー教授講演會

(一) 九月二十一日(火) 午後二時三十分~五時

於 アーモスト館ホール

講師 米國ウイノコンシン大学教授(經濟學部長)

J. S. Farley 博士

司會者 中島哲人 教授

通訳 渋谷昭彦 助手

演題 The Danger of Credit Deterioration in the U. S. A.

(出席者) 松井、松山、中島、今西、岩根、西川(良)、田口、

榊原、渡辺、西川(宏)、柏、藤村、今村、森、渋谷

THE DANGER OF CREDIT DETERIORATION

IN THE U. S. A.

Lecture Outline

Introductory Remarks

I. The General Levels of Indebtedness, Postwar vs. Prewar

II. The Strong Position of Agriculture

III. The Uncertain Position of State and Local Government
Debt

IV. Conflicting Evidence on the Quality of Business Credit

1. The Trend of Business Financial Ratios

2. The Decline in Business Credit Ratings

3. Failure, Delinquency and Bad Debt Rates

V. The Serious Question: the Quality of Household Debt

1. Consumer Installment Debt

2. Residential Mortgage Debt

a. Terms

b. Ratios to Borrower's Income

c. Mortgage Borrower Characteristics

1) Average Income Position

2) Occupational Distribution

d. FHA Mortgage Quality Ratings

e. The Foreclosure and Delinquency Records

3. The Weight of Household Debt

a. Installment Debt

b. All Debt Combined

VI. Some Conclusions

(一) 九月二十一日(水)午後二時三十分～五時三十分

於 ヲーストン館サール

講師 米國ウゝンズロンドン大学教授(経済学部長)

J. S. Farley 博士

司会者 中嶋哲人教授

通訳 森谷昭彦助手

演題 American Business Management and Economic

Theory

(招請者) 中嶋 田口 藤岡 渡辺 植 今村 森谷

AMERICAN BUSINESS MANAGEMENT AND

ECONOMIC THEORY

Lecture Outline

I. Introductory Remarks

II. My Views on this Subject as of 1957:

A. I then defended "marginalism," as a tool of analysis of the business firm, against its critics, basing my defense mainly on certain developments in American business management.

1. Management Accounting

2. Market Research

3. Budgeting

4. Profit-planning

B. I concluded that the postulates of, (1) differential cost and revenue analysis, and (2) profit maximization, should be retained.

C. Part of the basis for this conclusion was a prediction that economic theory and business management methods would move towards each other.

III. Some Further Developments of Economic Theory Since the Mid-1950's:

1. Activity analysis

授)

演題 「金と落城」

学生諸君の研究活動の一助として、経済学会では毎年春秋二回の講演会を催しているが、本年度の春季講演会は慣例により学外から、日本経済史(中世)の権威である松好貞夫教授にお願いして開催された。

相見部長の挨拶と紹介に引き続き、熱心な聴講者を前に約一時間三十分、松好教授はもつとも難解にして未開拓な日本経済史の中世的「貨幣」の機能をユーモアを混えつつ講演され満場を魅了された。司会の今西教授の閉会の辞を最後に、講演会は盛大裡に幕を閉じた。松好教授の講演要旨は次のことである。

演題の「金と落城」を契機として、支配者に独占されていた貨幣は、ようやく民衆の手に移ることとなったが、この時期、大阪城の落城以前の日本における貨幣は、貴族、朝廷、武家支配者たちに占有される一方、足利時代の如きは貨幣的に日本が支那の属国であったともいえる時期である。

織豊期に入って、日本では始めて最高武家支配者の手中に「金・銀」が集中し、ようやく全国的貨幣制度への準備がなされたといえ、かような「金・銀」で代表される上流階級の外、「銭」で現わされる庶民生活は、「銭」の不足あるいは缺乏によって、きわめて苦しくまた低調なものであった。

徳川家康は大坂城の莫大な「金・銀・分銅」を手に入れるとともに、江戸に鑄造所(金座・銀座)を設け、全国的貨幣制度を遂

2. Decision theory
 3. The theory of games
 4. Linear programming
 5. Organization theory
- “*Organization Theory*” further considered :
1. Organization roles and goals
 2. Authority-communication mechanisms
 3. Search mechanisms
 4. Organizational decision-making
 5. “Satisficing” vs. Maximizing behavior
- IV. Some Further Developments in Business Management
- Since the Mid-1950's:
1. Organizational self-consciousness
 2. Increased use of consulting
 3. Use of computers
 4. The influence of:
 - a. Business Education?
 - b. Economic Theory?
 - V. Some Conclusions

経済学会春季講演会

六月十五日(水)午後二時三十分 於 宝静館二十一番教室

講師 松好貞夫教授(流通大学教授、東京都立大学名誉教授)

に樹立したが、「金」はやはり「武家」経済の基盤として機能し、「銀」はこれと反対に大阪の「町人」によって操作され、ここに二つの貨幣が機能することとなった。ところが、庶民経済の象徴としての「銭」は全国各地で鑄造され徳川幕府の統制外の「賚幣」として作用することになった結果、徳川期の貨幣制度はきわめて複雑な性格を帯びることになったのである。

「私は、この三つの貨幣のうち、最後の『銭』を通じての庶民生活を今後究明していきたいと考えており、これがまた徳川期における大衆経済を解明する一手段ではなかるうか」と説かれ、これを証明する意味で数々の文書、史料を示された。日本経済史におけるこの面の研究はややもすれば軽視される傾向があつて、これがため真の庶民生活また町人对農民の経済關係が往々不明であることから、今回の松好教授の講演は大いに学生諸君を刺戟し、多くの教訓を与えたといえる。